改正後	改正前
搬送波の周波数の空中線電力に対する減衰量は、中心周波数から一チャネルの帯域幅の五〇％以上三〇〇％以下離れた周波数帯域において、任意の一MHzの帯域幅当たりの空中線電力に対する減衰量Asmが、次の式により求められる値以上であること。	搬送波の周波数の空中線電力に対する減衰量は、中心周波数から一チャネルの帯域幅の五〇％以上三〇〇％以下離れた周波数帯域において、任意の一MHzの帯域幅当たりの空中線電力に対する減衰量Asmが、次の式により求められる値以上であること。
Asm＝a／b×（pd－c）＋d［dBc］ なお、Asmは、1チャネルの帯域幅が20MHz以下の場合は最大59.8＋10log（BWch／60）［dBc］とし、1チャネルの帯域幅が20MHzを超える場合は最大56［dBc］とする。	Asm＝a／b×（pd－c）＋d［dBc］
pdは離調周波数対1チャネルの帯域幅比［%］、BWchは1チャネルの帯域幅［MHz］とする。	pdは離調周波数対1チャネルの帯域幅比［%］とする。
a、b、c及びdは次のとおりとする。	a、b、c及びdは次のとおりとする。
ア　1チャネルの帯域幅が5MHzの場合	［新設］
pd＝50%以上75%未満のとき、a＝21、b＝25、c＝50、d＝12.7	
pd＝75%以上102%未満のとき、a＝0、b＝1、c＝75、d＝33.7	
pd＝102%以上300%以下のとき、a＝18、b＝68、c＝102、d＝33.7	
イ　1チャネルの帯域幅が10MHzの場合	［新設］
pd＝50%以上75%未満のとき、a＝27、b＝25、c＝50、d＝15.5	
pd＝75%以上123%未満のとき、a＝0、b＝1、c＝75、d＝42.5	
pd＝123%以上300%以下のとき、a＝15、b＝82、c＝123、d＝42.5	
ウ　1チャネルの帯域幅が20MHzの場合	［新設］
pd＝50%以上75%未満のとき、a＝27、b＝25、c＝50、d＝18.4	
pd＝75%以上123%未満のとき、a＝0、b＝1、c＝75、d＝45.4	
pd＝123%以上300%以下のとき、a＝15、b＝82、c＝123、d＝45.4	
エ　1チャネルの帯域幅が40MHzの場合	ア　1チャネルの帯域幅が40MHzの場合
pd＝50%以上75%未満のとき、a＝30、b＝25、c＝50、d＝21.3	pd＝50%以上75%未満のとき、a＝30、b＝25、c＝50、d＝6
pd＝75%以上300%以下のとき、a＝9、b＝32、c＝75、d＝51.3	pd＝75%以上107%未満のとき、a＝9、b＝32、c＝75、d＝36 pd＝107%以上179%未満のとき、a＝3、b＝72、c＝107、d＝45 pd＝179%以上250%未満のとき、a＝0、b＝1、c＝0、d＝48 pd＝250%以上300%未満のとき、a＝2、b＝50、c＝250、d＝48
オ　1チャネルの帯域幅が60MHzの場合	イ　1チャネルの帯域幅が60MHzの場合
pd＝50%以上75%未満のとき、a＝27、b＝25、c＝50、d＝23	pd＝50%以上75%未満のとき、a＝27、b＝25、c＝50、d＝6
pd＝75%以上123%未満のとき、a＝0、b＝1、c＝75、d＝50	pd＝75%以上123%未満のとき、a＝0、b＝1、c＝0、d＝33
pd＝123%以上300%以下のとき、a＝15、b＝82、c＝123、d＝50	pd＝123%以上205%未満のとき、a＝15、b＝82、c＝123、d＝33 pd＝205%以上250%未満のとき、a＝0、b＝1、c＝0、d＝48 pd＝250%以上300%未満のとき、a＝2、b＝50、c＝250、d＝48
カ　1チャネルの帯域幅が80MHzの場合	［新設］
pd＝50%以上75%未満のとき、a＝27、b＝25、c＝50、d＝24.1	
pd＝75%以上123%未満のとき、a＝0、b＝1、c＝75、d＝51.1	
pd＝123%以上300%以下のとき、a＝15、b＝82、c＝123、d＝51.1	

備考　表中の［　］の記載及び対象規定の二重下線を付した標記部分を除く全体に付した下線は注記である。